

「子どもの成長を支えるPTA活動」

～学校・家庭・地域の強い絆づくり～

周南市立秋月中学校

1 学校地域の概要

PTA会長	:	大亀 和也
学校長	:	道上 収
生徒数	:	262名
世帯数	:	236世帯
教職員数	:	23名
所在地	:	〒745-0825



周南市秋月1丁目1番53号

TEL 0834-22-5830 FAX 0834-28-5801

URL : <http://www.shunan.ed/akizukichu/>

E-mail : akizukicjm@shunan.ed.jp

(1) 地域・学校の特徴

南に瀬戸内海国立公園太華山を望み、北には岐山を仰ぎ、徳山湾沿いに林立する石油コンビナート群を眼下に見下ろす小高い丘の上に位置している本校は、周南団地の人口増加に伴い、昭和59年4月1日周陽中学校から分離・新設する形で開校した。学校に接して周南団地を東西に貫く国道2号線の北側が本校の校区だが、生徒の通学距離は学校を中心に1.2km以内と狭く、生徒全員が徒歩通学である。校区は隣接する秋月小学校と同じであり、本校入学者のほぼ全員が秋月小学校の卒業生である。

生徒は概して明朗で素直であり、学校行事、部活動などの活動には熱心に取り組んでいる。生徒間の人間関係がやや固定化されており、個々の生徒の個性や能力が発揮されにくい状況も見られる。平成21・22年度には文部科学省による人権教育の研究指定を受け「誰からも愛される秋月中学校」の実現をめざし、学校改善に取り組んできた。

また平成24年度からコミュニティ・スクールが始まり、小中連携を強化し、9年間を見通した秋月教育を地域とともに推進している。平成25年度には開校30周年を迎えた。31年目となる今年度は生徒の可能性を引き出し、秋月中の新たな伝統づくりに学校をあげて取り組む。

(2) 学校の目標

〈学校教育目標〉

「思いやりの心を大切に、自然や人、社会に

主体的に関わっていかうとする心身ともにたくましい生徒の育成」

〈校訓〉 自律 敬愛 誠心

〈スローガン〉 誰からも愛される秋月中学校

- 〈めざす生徒像〉
- 学力の向上に努め、学ぶ喜びを実感する生徒
 - 自己と他者との違いを認め、ともに高め合う生徒
 - 夢や希望を抱き、自信と誇りを持って生きる生徒

- 〈チャレンジ目標〉
- ① いつでも明るい挨拶をする。
 - ② 自己の表現力を高める。
 - ③ V S活動を進んで行う。

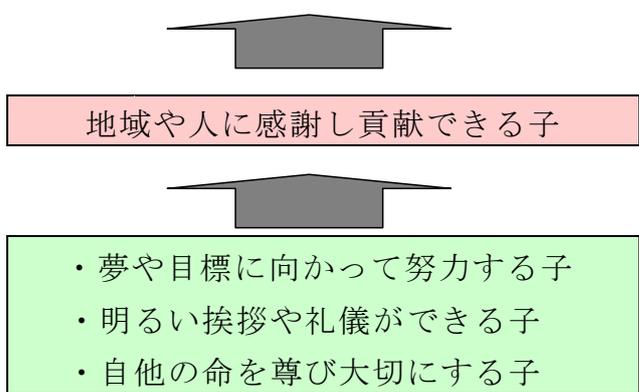
(3) 秋月地域コミュニティ・スクールについて

1 スローガン

きらり輝く秋月！ 子どもは地域の宝！ 

研究主題 「夢をもってたくましく生きる子どもの育成」

～小中連携の強化と魅力あるコミュニティ・スクールの推進～

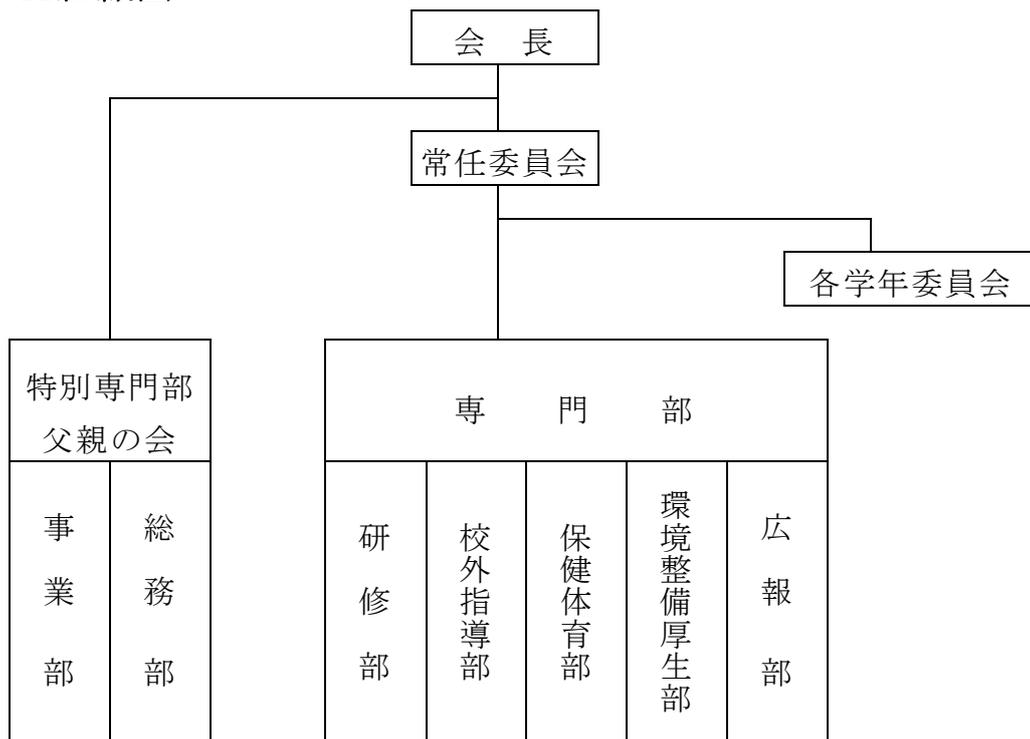


9年間を見通した教育 生きる力の育成

秋月地域コミュニティ・スクール 重点項目

あいさつ 学習支援 ボランティア

2 P T A組織図



役員	人員	任 務	選 出 方 法
会 長	1 名	本会を代表し、会務を総括する。 常任委員会や運営委員会を招集する。	常任委員会で推薦し、総会 で承認を得る。
副会長	若干名	会長を補佐し、会長事故あるときは、 その職務を代行する。	常任委員会で推薦し、総会 で承認を得る。
常 任 委 員	若干名	本会の重要事項・総会提出議案を審議 する。常任委員会の委員になる。	学年委員をもってこれに 充てる。
運 営 委 員	若干名	本会の事業推進及び各専門部の連絡調 整を図る。運営委員会の委員になる。	専門部の正副部長・特別専 門部の部長を充てる。
学 年 委 員	各学年 10名程度	学年・学級に関する本会の事業の推進 に努める。学年委員会を組織する。	各学年から選出する。
会 計 監 査	2 名	会計を監査し、会長及び総会に報告す る。	会長に同じ。
幹 事	若干名	本会の庶務会計を司る。	会長が委嘱する。
顧 問	若干名	本会の運営について意見を述べ、諮問 に応ずる。	会長が委嘱する。
学 校 職 員	若干名	本会の運営について意見を述べ、諮問 に応ずる。	校長の具申に基づき会長 が委嘱する。

3 研究主題について

「子どもの成長を支えるPTA活動」 ～学校・家庭・地域の強い絆づくり～

秋月中学校は昨年度開校 30 周年を迎え、記念事業としてPTA特別専門部として開校 30 周年記念事業実行委員会を設立し、記念行事や記念式典、記念講演会などを行った。今年度は 31 年目であり、今までの伝統の上に新たな活動を加えていきたいと考えている。子どもたちが新たな一歩を踏み出すために、PTAも全力をあげて取り組みたいと考えてこの研究主題を設定した。

4 活動内容

(1) 講演会

①人権教育講演会 平成26年11月16日(日)

「命の大切さを学ぶ教室」～子どもの心と命を守るために～

講師 NPO 法人ジェントルハートプロジェクト

小森 美登里 様

全校生徒と保護者を対象に命の大切さについてお話しいただいた。

[講演後の生徒の感想]

- ★学校生活の中で嫌なこともたくさんある。学校に行きたくないと思う時もある。それでも、学校に行けば一生懸命になって一緒に考えてくれる友だちがいる。だから、いつも助けてもらっている分だけじゃなくて、2倍、3倍、人の役に立ちたい。小森さんが言っておられた「私たちは《言葉》という宝物を持っている」という言葉を思い出して、楽しいことも嬉しいことも悲しいこともたくさん友だちと言葉を使って分かち合っていきたい。
- ★「死んだら楽になる」という言葉は、窮地に立たされた恐怖感から出ると思う。どれだけ窮地に立つ人を減らすことができるかが自分たちの課題と思う。
- ★どんな理由があろうと、いじめでいい理由なんてないと思った。
- ★今日の講演会で、いじめの悲しみ、怒り、悔やみ、その全てを考えることができた。
- ★いじめは「いけない」とか「絶対しない」とか知っているつもりだったが、事の重さをわかっていなかった。講演会を聞いていて、心がチクッとしたことが何度かあった。

②性教育講演会

平成26年7月11日（金）…3年生

平成26年12月1日（月）…1, 2年生

講師 高杉 敏子 様

助産師の高杉敏子先生に、思春期の心と体の変化についてお話をいただいた。



[生徒アンケート感想 抜粋]

- ★講演会で学んだことは、自分のことを大切にすることだ。自分のことを大切にできない人が他人のことを大切にできるわけがないと思った。（1年）
- ★人それぞれ成長する速さは違い、個人差があることがわかった。（1年）
- ★講演会のおかげで、体が大人に変わる大事な時期ではあるがあせらずあわてずとまどうことなく過ごすことができている。（2年）
- ★自分と同年代の人が同じような悩みや考えを持っていることがわかり、一人だけじゃなくてみんな一緒なんだとわかることができてよかった。（2年）

(2) 秋月すこやかあいさつ運動

コミュニティ・スクールの活動の一環として、秋月小学校の6年生と秋月中学校の生徒で年3回の朝の「秋月すこやかあいさつ運動」に取り組んでいる。小中学生、地域の方と一緒にPTAの役員も参加し、声かけを行っている。



*小学生、中学生、両保護者・教職員、地域の方・学校運営合同協議会委員が協力して地域ぐるみで行った「秋月すこやかあいさつ運動」の様子

(3) バザー活動

各バザーでの収益を上記の講演会経費等で生徒に還元している。

①体育祭バザー 平成26年9月7日(日)

かき氷販売・ジュース販売、昼食弁当・ハンバーガー類の販売を行った。



バザー販売



ムカデ競走にも参加しました。

②文化祭バザー 平成26年10月26日(日)

昼食時に弁当・バーガー類・うどん・デザート類・飲み物等の販売、クッキー・喫茶コーナー、パン販売、生徒活動写真販売等を行った。



(4) P T A救急蘇生法講習会 平成26年8月28日(木)

周南市消防本部の署員の方を講師に教職員、保護者、生徒保健委員を対象にA E Dを使った救急蘇生法を学んだ。

★「技術も大切だけど、一番大切なのは勇気」と言われたことが印象に残った。

★胸骨圧迫のコツがなかなかつかめなかった。もっと「強く」「速く」「絶え間なく」することが大切だと思った。

★もし友だちや家族が倒れてしまった時は、今回の学習を思い出して迷うことなくやろうと思った。

★A E Dは難しくて絶対できないという印象があったが、やり方を知ったら自分にもできそうだと思えた。



(5) その他

①PTA 総会 平成26年4月25日(金)



新執行部紹介

②PTA コーラス交流会 平成26年11月29日(土)

秋月小学校と秋月中学校のPTAが合同で参加している。



③門松作り・しめ縄&ミニ門松づくり 平成26年12月21日(日)

小中学校の玄関に飾る門松づくりと小学生親子を対象にした、しめ縄&ミニ門松づくりをコミュニティ・スクールの行事として行っている。この活動に小中学校のPTAも参加し、父親の会が竹の切り出しや準備を、母親の会がお昼に振る舞う豚汁づくりを行った。また、新生徒会執行部の初仕事として、父親の会と協力して校舎入り口に飾る門松を製作したり、小学生のしめ縄やミニ門松づくりの準備や手伝いなどをボランティアの生徒とも行ったりし、お互いが感謝できる会にすることができた。



④保健体育部による健康についての広報誌の発行

保健主任や生徒保健委員会と連携して、毎年、生徒や保護者に健康についてのアンケートを行い、その結果を広報誌にまとめて、保護者に配布している。平成25年度は「携帯電話等の利用について」、平成26年度は「心の健康」について取り組んだ。



4 成果と課題

秋月中学校は創立31年目を迎え、PTAの活動は年々確実に受け継がれてきている、特に、平成24年度から始まったコミュニティ・スクールを契機として、小中連携や地域との連携も進み、地域とともに9年間の子どもの健やかな育ちを支えていこうという気運が高まっている。

○主な成果

- ・PTA活動をコミュニティ・スクール活動の一環として行うことで、地域の方の協力を得やすくなったり、小中学校が連携して活動する機会が増加したりし、地域ぐるみで子どもを育てていく体制づくりが進んだ。
- ・バザーの収益金で、花の苗と肥料を購入し、学校環境の充実に貢献している。
- ・講演会、文化祭や体育祭等の学校行事の運営をバックアップしている。
- ・来年度より本格的に取り組む、英語科におけるICTを活用した対話型授業に必要なタブレット端末などをPTA文化後援会費で購入し、子どもたちがきめ細かな支援を受けられるような体制を充実させることができた。

○課題

- ・参観日や親子ふれあい緑化活動、あいさつ運動等の参加者が増加するよう工夫していきたい。
- ・卒業生の保護者を地域の協力者ととらえ、サポーターとして小中学校を支える活動をお願いしたい。
- ・今後も子どもたちの笑顔を励みに、更に積極的に活動するPTAを目指していきたい。